

伊藤 誠宏 教授略年譜

- 1942年11月 京都府に生まれる
- 1961年 3月 平安高等学校卒業
- 1963年 4月 関西大学文学部仏文学科入学
- 1967年 3月 同 卒業
- 1967年 4月 関西大学大学院 文学研究科 仏蘭西文学専攻入学
- 1969年 3月 同 修了
- 1969年 4月 関西大学 文学部助手
- 1972年 4月 関西大学 文学部専任講師
- 1975年 4月 関西大学 文学部助教授
- 1982年 4月 関西大学 文学部教授
- 1982年10月 文学部 学生相談主事 在職は2期で1984年9月まで
- 1984年10月 教養部長代理 在職は、1986年9月まで
- 1986年10月 文学部 学生相談主事 在職は2期で1993年3月まで
- 1993年 4月 教学部長代理 (1994年9月まで)
- 1993年10月 自己点検・評価委員会委員 (1995年3月まで)
- 1994年10月 就職部長 在職は1997年9月10日まで
- 1994年10月 情報処理センター委員会委員 在職は2期で1997年9月まで
- 1996年11月 エクステンション・リードセンター就職講座コーディネーター 在職は1997年9月まで
- 1997年10月 教学部長 在職は2000年9月まで
- 1997年10月 大学協議会協議委員 在職は2000年9月まで
- 1997年10月 情報処理センター委員会委員 在職は2000年9月まで
- 1997年10月 自己点検・評価委員会委員 在職は2000年9月まで

1997年10月	重点領域研究助成委員会委員 在職は2000年9月まで
1997年10月	年史編纂委員会委員 在職は2000年9月まで
1997年10月	大学院給付奨学金委員会委員 在職は2000年9月まで
1997年10月	発明委員会委員 在職は2000年9月まで
1997年10月	セクシュアル・ハラスメント防止委員会委員 在職は 2000年9月まで
2000年4月	全学共通教育推進機構長 在職は2000年9月まで
2004年10月	大学評議委員 在職は2006年9月まで

伊藤 誠宏 教授研究業績

著 書

『若者の感性とリスク ～ベネフィットからリスクを考える～』 共著
北大路書房 平成15・10・15

『色彩の魔力』 編著 明石書店 平成17・4・15 伊藤 180～214頁、
伊藤・浜本 216～235頁、伊藤 237～239頁

『17世紀フランス文法家証言集～名詞の性～』 単著 関西大学出版部
平成19・3・28

『社会人になるまえに読むマナーの常識と知識』 単著 神戸新聞総合
出版センター

論 文

Victor Hugoにおける複合語について 関西大学『文學論集』第十九
巻第二号 59～74頁 昭和45・1・15

17世紀フランス語における補語代名詞の位置について 関西大学『文
學論集』第二十巻第二号 72～94頁 昭和45・11・15

《L'Astrée》における infinitif complément d'objet 関西大学『文學論集』
第二十二巻第三号 57～78頁 昭和48・2・15

17世紀フランス語の複合時における構成要素の位置について～助動詞
と過去分詞の分離をめぐって～ 関西大学『文學論集』第二十三巻第二・
三号 25～39頁 昭和49・2・15

D'Urféの《Les Epistres morales》における補足節中の叙法使用について
『仏語 仏文学』第8号 153～170頁 昭和50・12・10

17世紀フランス語の関係節における動詞の人称の一致について 関西
大学『文學論集』第二十九巻四号 1～15頁 昭和55・3・31

L'Astréeの版本について 『仏語 仏文学』第11号 1～19頁 昭和

56・2・28

< *L'Astrée* > と Guez de Balzac の書簡における間接補語の強調
— C'est ~ que (qui) ~ の場合 — 関西大学『文学論集』第三十卷第
四号 21~31頁 昭和56・3・31

« *L'Astrée* (第1部) » における未来形動詞の語形について 関西大学
『文学論集』第三十一卷第三・四合併号 27~48頁 昭和57・3・31

« *L'Astrée* (第一部) » における単純過去形について — prendre, tenir,
vivre — 関西大学『文学論集』第三十七卷第二号 39-58頁 昭和
63・1・30

L'Astrée (第一部) における直説法現在第一人称単数の語末Sについ
て 『仏語 仏文学』第18号 29~47頁 平成1・12・20

< *L'Astrée* (第一部) > における第一群規則動詞のeuとouの母音交替
について 関西大学『文学論集』第四十一卷第一号 109-128頁 平成
3・11・30

L'Astrée (1^{ère} partie) における aller, pouvoir の直説法現在第一人称単数
形について 『仏語 仏文学』第20号 1-18頁 平成3・12・20

« *L'Astrée* (第一部) » における接続法現在形について 関西大学『文
学論集』第四十一卷第二号 111-126頁 平成4・1・31

« *L'Astrée* (第1部) » における名詞の性 (genre) について
— affaire, erreur, reproche — 『仏語 仏文学』第26号 1-20頁 平成
11・2・28

« *L'Astrée* (第一部) » における現在分詞の一致 — ayant と étant —
『仏語 仏文学』第30号 43-80頁 平成15・2・28

17世紀フランス文典にみられる genre de noms (I) — Oudin の文典
を中心として — 関西大学『文学論集』第五十四卷第四号 51-88頁
平成17・3・19

17世紀フランス文典にみられる genre de noms (II) — Oudin の文典を
中心として — 関西大学『文学論集』第五十五卷第一号 27-52頁
平成17・7・25

Bouhours, *Doutes sur la langue française*で問題視された名詞の性 『仏語 仏文学』第32号 19-38頁 平成18・2・28

17世紀フランス語における名詞の数 —*Ménage*留意した名詞— 『仏語 仏文学』第34号 1-21頁 2008年3月15日

Vaugelas, *Nouvelles remarques sur la langue française*に記述された動詞の問題 関西大学『文學論集』第五十八卷第三号 87-123頁 平成21年1月15日

Vaugelas, が^s*Nouvelles remarques sur la langue française*で留意した副詞 『仏語 仏文学』第35号 1-31頁 2009年3月15日

Vaugelas, が^s*Nouvelles remarques sur la langue française*で使用価値を疑問視した語 関西大学『文學論集』第五十九卷第一号 1-29頁 平成21年7月31日

口頭発表

<*L'Astrée*>における infinitif complément d'objet 日本フランス語フランス文学会関西支部会 昭和49・11・20

Les éditions de *l'Astrée* 関西大学仏文学会 昭和53・12・9

自己のリンケージモデルと感性言語 共同発表 第42回日本社会心理学会全国大会 平成13・10・14

日本語版大学生用SSI 簡易改訂版の検討 共同発表 第42回日本社会心理学会全国大会 平成13・10・14

原子力発電に対する賛否と評価変動性 共同発表 第42回日本社会心理学会全国大会 平成13・10・14

ベネフィットからみた若者のリスク認知 日本リスク学会 第16回、平成15・11・20